

経済・金融 フラッシュ

6月マネー関連： 銀行貸出は8ヶ月ぶりの低い伸びに

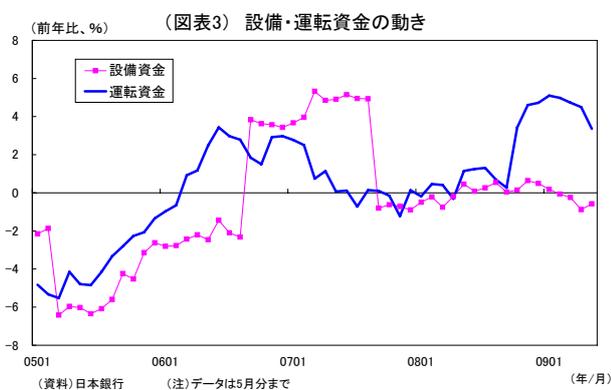
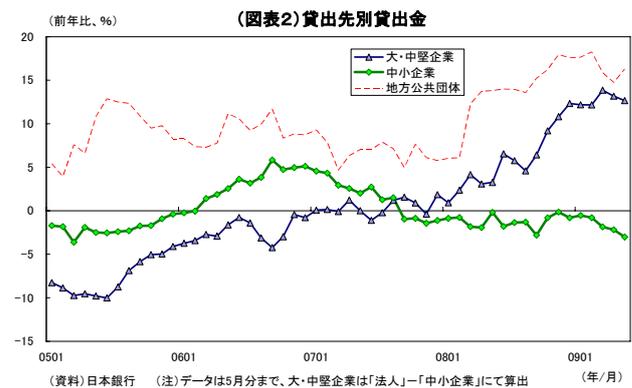
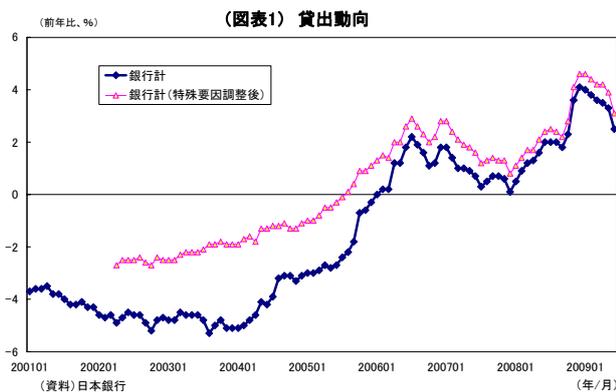
経済調査部門 副主任研究員 上野 剛志

TEL:03-3512-1870 E-mail: tueno@nli-research.co.jp

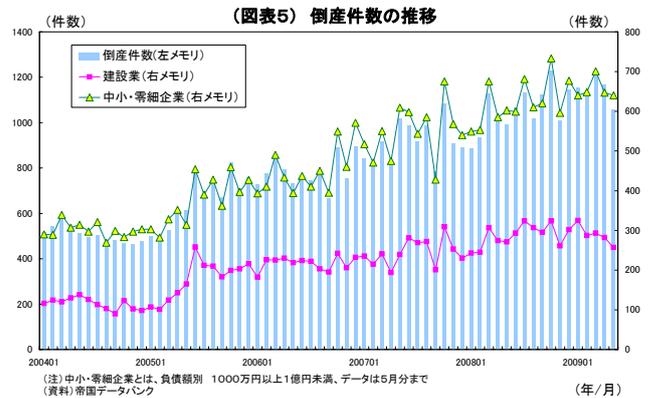
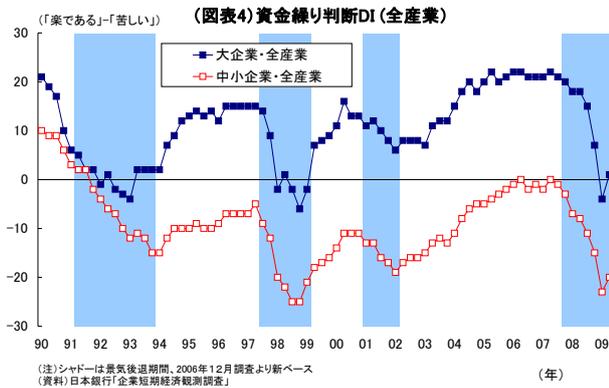
1. 貸出動向： 6ヶ月連続で伸び率が縮小

日銀の貸出・資金吸収動向等によると、6月の銀行総貸出(平残)の伸び率は前年比 2.5%と6ヶ月連続で伸び率が縮小し、2008年10月以来の低い伸びとなった。景気低迷に伴って設備資金需要が減少しているほか、CP・社債市場の機能が回復しており、貸出需要が頭打ちになってきている。また、前年度業績の大幅悪化に伴う賞与削減により、前年に比べ賞与向けの貸出が少なかったという要因もあったようだ。

(図表1~3)



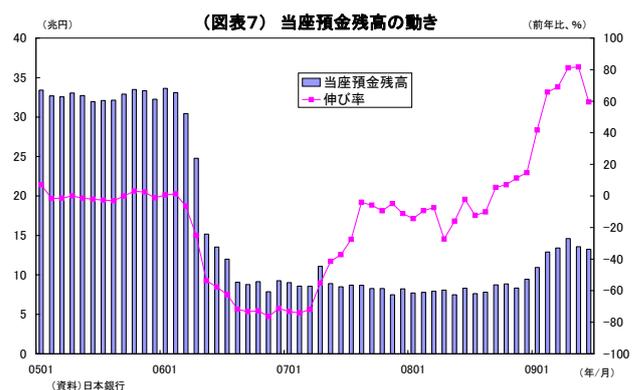
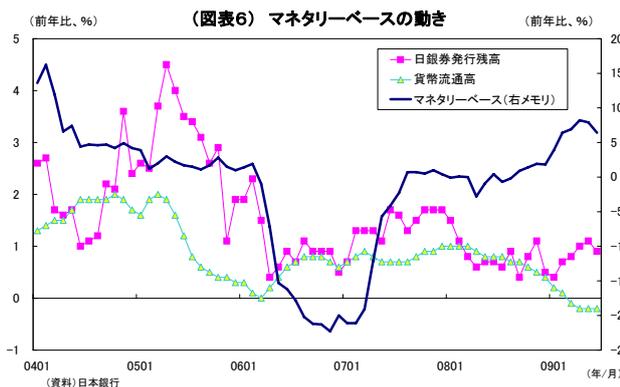
なお、中小企業向け貸出については引き続き前年比マイナスが続いており、さらにマイナス幅は拡大傾向にある。6月調査日銀短観では、中小企業の資金繰り判断DIは改善しているものの小幅にとどまってお
り、DIの水準自体も依然大幅なマイナスとなっている。また倒産件数も高止まりしていることから、中小企業の資金繰りは厳しい状況が続いているとみられ、大企業との間で企業金融の2極化という状況が生じていると考えられる。(図表4, 5)



2. マネタリーベース：10ヶ月連続の前年比プラス

6月のマネタリーベースは、前年同月比6.4%増と2ヶ月連続で増加率が低下したが、10ヶ月連続で前年の水準を上回り、高い伸びが続いている。(図表6)

日銀による短期市場への潤沢な資金供給が続いており、日銀当座預金残高が前年比59.6%増と大幅なプラスを維持していることが要因である。(図表7)

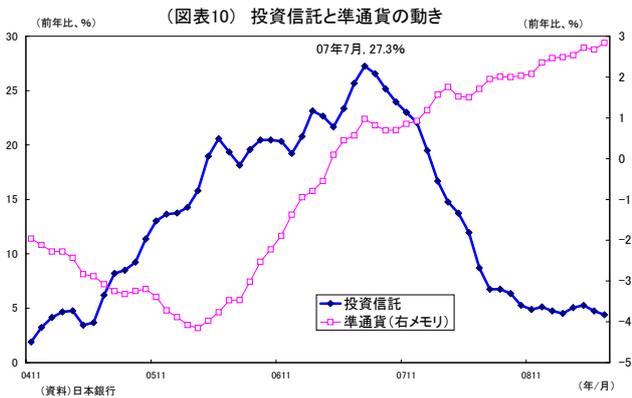
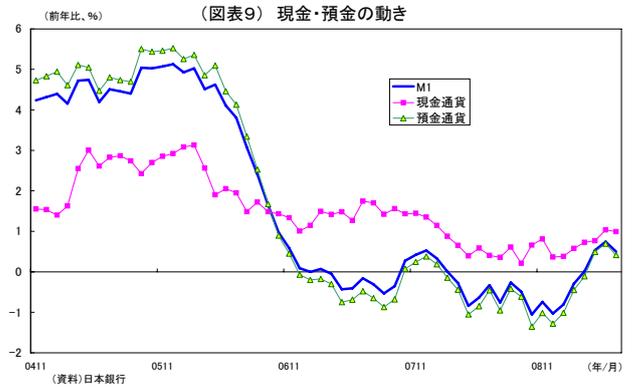
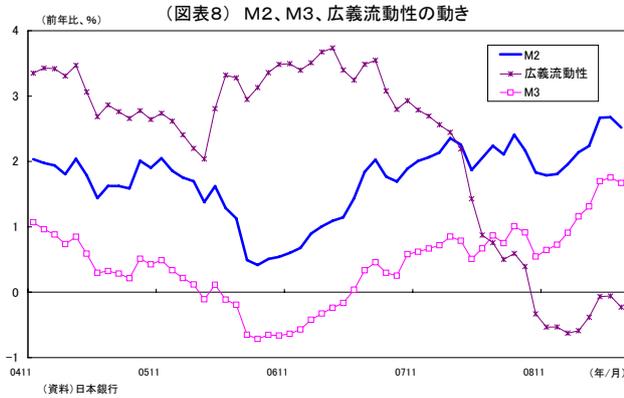


3. マネーストック：マネーの伸びは鈍化、安全資産への資金流入が続く

6月のM2(現金、国内銀行などの預金)平均残高は前年比2.5%増、M3(M2にゆうちょ銀など全預金取扱金融機関の預貯金を含む)は同1.7%増と引き続き前年比プラスを維持したが、伸び率はそれぞれ8ヶ月ぶりに前月から縮小した。また、M3に信託などを含めた広義流動性もマイナス幅が再び拡大に転じ

ている(図表8)。賞与の減額によって預金通貨の伸びが鈍化した影響もあったようだ(図表9)。

投信(金融機関等保有分を除く)の伸び率がリーマン・ショック以降 5%前後に低迷する一方で、定期預金など準通貨の伸びは拡大を続けている。これまで同様、リスク回避目的による安全資産への資金流入の動きが続いている(図表10)。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。